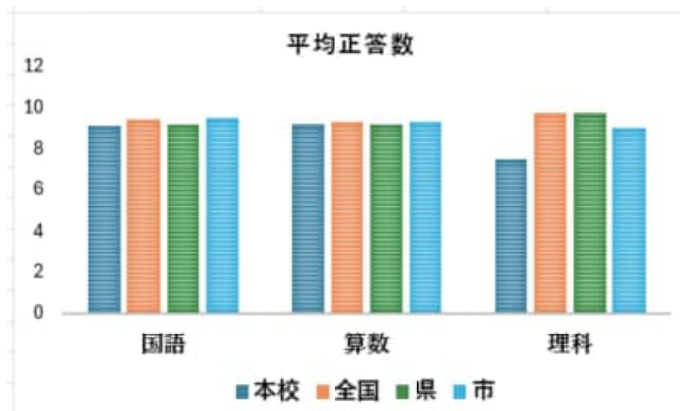


令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から

年度当初4月に6年生で実施した全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

小学校6年生	国語	算数	理科
調査問題数	14	16	17
本校平均正答数	9.1	9.2	7.5
全国平均正答数	9.4	9.3	9.7
和歌山県平均正答数	9.5	9.2	9.7
有田市平均正答数	9.5	9.3	9.0



※平均正答数(へいきんせいとうすう)とは、ある集団における、テストや設問全体での正答数の平均値を指します。

※平均正答数:主に学力調査や試験の結果分析で使われます。集団全体の知識や技能の習得度合いを把握し、特定の集団(例:自分の学校)が全国平均や他集団と比較して、どれだけ問題を解けたかを評価する際の指標となります。

※簡単に言えば、「そのテストで、この集団の人は平均で何問正解したか」を表す数値。

国語・算数ともに全国との差はほとんどなく、平均正答数で国語は-0.3問、算数は-0.1問という差でした。国語・算数については、成果と課題を検証し、引き続き、日々の授業方法の工夫改善を図り、児童一人一人の学習状況の改善につなげていきます。

理科は平均正答数で全国と-2.2問の差があり課題が明らかになりました。課題のある問題では、複数の性質をもつ金属を比較・分類して判断する力が弱く、性質に関する知識の定着が不十分でした。また、理科学習において実体験と知識を結び付ける学習の機会が不足しているのではないかと考えています。

6年生への児童質問紙調査においても「理科の授業の内容はよく分かりますか」への肯定的な回答が全国よりも4.2ポイント低く、「理科は将来社会に出たときに役に立つと思いますか」への肯定的な回答は全国より22.7ポイントも低い結果となっています。

現在、本校では、児童の理科学習への興味関心を高め、理科学習の意義づけを強化するとともに、理科と実生活との関連付けを意識した授業方法の工夫改善をすすめています。

児童質問紙調査の結果から

質問項目 (※「当てはまる／どちらかという」と肯定的に答えた割合)	本校	市	全国
朝食を毎日食べている	85.7	91.5	93.7
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	92.8	84.9	81.9
毎日、同じくらいの時刻に起きている	100	91.6	91.0
自分には、よいところがあると思う	85.7	89.8	86.9
将来の夢や目標を持っている	85.7	89.2	83.1
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	78.5	86.1	70.6
学校に行くのは楽しいと思う	85.7	92.1	86.5
自分と違う意見について考えるのは楽しい	78.5	85.6	78.1
分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている。	92.8	91.6	81.7
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日1時間以上勉強している（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットで学ぶ時間も含みます）。	78.5	56.6	54.0
読書は好きである。	42.8	72.3	69.7
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日（複数の授業で）活用した。	85.7	30.7	24.5
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使って）ことができる	85.7	75.9	69.3
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができる	92.8	84.9	76.3
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	85.7	89.1	80.3
授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	78.5	85.0	77.8
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる	92.8	89.2	79.4
地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある（習い事は除く）	57.1	50.0	39.4
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	78.5	85.0	81.3

本校は調査参加人数が14名と少ないため、児童1名の回答が結果に強く反映されます。児童1名の回答で約7%分の上がり下がりが出てくることをお知りおきください。

参考：本校回答結果で1番多い値 85.7%は肯定的な回答が11名となっています。